

高田会場（じげんホール）

開催日：令和6年6月17日（月）午後6時30分～

参加者：町民24名、議員16名

【充実しているところ】

- ・Wi-Fi 環境支援サービス
- ・地元議員が密着していて話しやすい
- ・地区住民の人柄と近所付き合い
- ・18歳以下の医療費無償
- ・子育て教育が充実
- ・介護職の方の対応が温かい

【充実していないところ、こんなふうになったら・こんなことできたらいいな】

- ・高齢者世帯で災害時の対応を整備していない。
- ・やる気のある農家が得意な農産物を栽培し、その農産物を活用してマルシェ等の仕組みを作る。
- ・議会だよりを活用し、農産物ネットワーク網を議会と一緒に取り組む（議会が窓口）。
- ・アイデアやシステム作りを地元学生に願う。
- ・町庁舎の階段手すりが危険なので改善してほしい。
- ・議員定数の削減をしてほしい。
- ・町村合併しても、3町村が一緒になった活動ができていない。3町村が共に活動できる行事がない。
- ・町は高齢者の悩みをわかっていない。運転免許証返納後、歩いて生活できる環境づくりをして欲しい。
- ・気楽にコーヒーを飲める場所がない。食堂もない。ちょっとした飲食ができる場所が欲しい。
- ・役場職員と町民とのふれあう交流の機会がないので、交流できる機会を作りたい。
- ・竹原橋南側の河畔公園庭球場の2面のコートが廃止されると聞いた。高校生はほとんど毎日練習している。利用者目線に立っていない。練習するところがなくなってしまふ。存続してほしい。
- ・町民全員が参加できるイベント（ワインまつり、向羽黒山城まつり、あやめまつりなど）を増やしてほしい。
- ・加齢性難聴に係る補聴器購入の補助をお願いする。会津若松市、金山町、二本松市などには補助制度がある。実態を調べて対応してほしい。
- ・旧高田公民館の跡地利活用は急務だ。
- ・八木沢地区の東側の道路に街灯がない。⇒街灯と防犯灯がある。整備は自治区が負担する。補助制度もあるので、町に相談されたい。
- ・伝統芸能、本郷甚句保存会、永井野甚句保存会などが発表する機会を作るなどに取り組んで欲しい。
- ・伝統芸能の伝承は大事なので残したい。本郷で以前のように子ども指導教室を作れないか。
- ・檜葉町と大熊町からの移住者に対して、移住に係る調査を行い、今後の移住促進につなげたらどうか。
- ・門前町町営駐車場に駐車している近隣住民は、町に対して駐車料を払って欲しい。
- ・高田門前町通り水車小屋が造りっ放しで動いていない。水路に流水が無い。

- ・廃校をリノベーション、利活用できないか。
- ・予算の余剰金がある。給食費の無償化できないか。
- ・町民の学校支援あるが、教師の意識改革が必要だ。
- ・スクールバス利用規則の緩和、見直し、柔軟にできないか。停留所に行けば乗れるとか融通が利かない。
- ・中学生を海外視察研修に出してやりたい。将来に向け、見聞を広めること有意義だ。
- ・山間地域だからこそ小水力発電を設置して、電気料の節減をしてはどうか。
- ・子育て世帯の家賃が若松市と同程度であり、児童手当のアップを考えられないか。

【その他】

- ・選挙活動は昔から変わっていない、公約は4年間でどこまでできたのかを知らせる義務がある。また、お金のかからない選挙はできないのか。若い人も立候補できるようにしてほしい。(議員と接点が大切であり意見交換会をしている)(4年間で公約に近づける活動をしている)(選挙資金は一部補助されており若い方も近年は出やすいのではないか)(ただし、報酬が低いので他の仕事がないと難しい)
- ・生活はかかっていると思うが、議員は基本的にはボランティアの気持ちで自分の地域だけでなく広域に町民の話を聞き活動してほしい。
- ・ため池管理について年2回草刈作業をしているが人が集まらないので苦労している。
- ・災害発生時、指令はどこからくるのかわからない。特に火災の場合、初期消火の考えから機能別消防団の組織化が必要である。
- ・視察や現地研修などで出張した際に旅行会社やバス会社を見たら議員の名刺を渡し会津美里町のPRをしてほしい(必ず話題になる)。

本郷会場（本郷生涯学習センター）

開催日：令和6年6月22日（土）午後2時～

参加者：町民14名、議員16名

【充実しているところ】

- ・歴史や文化財等観光資源が多い
- ・風景がよく、自然がいっぱいある
- ・合併した各町村の特徴がある

【充実していないところ、こんなふうになったら・こんなことできたらいいな】

- ・近所付き合いをしてくれる移住者に住んでほしい。
- ・移住して人口を増やすことは大切であるが、交流人口を増やすことも考え交流事業を実施してほしい。
- ・本郷大橋に雑草が多い、会津若松方面から観光客を迎えるのできれいにしてほしい。
- ・道路沿いには草が生えており雑草でゴミがわかりづらいので道路美化運動の時期を早い時期にしてほしい。
- ・一部職員の対応が悪いので改善してほしい。
- ・自然環境ががよ、20年前に会津若松市の自宅を売って新用地地区に戸建てを作って移住した。しかし、最近柳津町からの土砂を運ぶダンプが交差しうるさくなってきた。
- ・住民の相互扶助が必要だ。町内の高齢者宅の雪かたしなど、高校生にも協力をもらう。ポイントカードを作りポイントごとの賞品を得られるような企画が欲しい。
- ・役場窓口業務は委託業者が行っている。これをやめて正規職員が対応すべきと思う。窓口で直接町民と接するようにしてほしい。そうすることによって、職員の活性化につながると思う。
- ・湯陶里の民営化は失敗だと思う。民営化前と同じ営業をしようと言ったが、約束を守らずキチンと営業していない。
- ・将来的な不安が払しょくできない。町の事業は、後追いではなく、先取りで早めに対策を講じて欲しい。特に空き家対策を考えて欲しい。
- ・向羽黒山（白鳳山）の観光に力を入れて欲しい。歴史を売って観光を推進する必要がある。
- ・小学校や公民館を壊すことは、歴史が無くなることだ。西会津町奥川の廃校は芸術村として活用されている。古くなったから壊すという考え方は止めて欲しい。
- ・伊佐須美神社は観光地の1つだが、老朽化した神社会館が景観を損ねている。町の仕事ではないと思うが、環境整備を図って欲しい。
- ・議員定数を16人から12～13人に減らせ。
⇒議員定数は条例で定められています。現在、議会改革推進特別委員会でハラスメント防止条例制定と議会基本条例等の見直しを検討しています。
- ・山間部の住民との対話を増やせ。ほとんどの議員は山間部へは選挙の時しか行っていないのではないか。少数の意見も聴いて欲しい。
⇒多分、議員のほとんどが、地元の町民の意見や要望を優先していると思います。
- ・義務教育学校となった本郷小中のアクセスができていない。早急に対応して欲しい。（渡り廊下）
- ・町主催の会議に参加している。せめて1時間毎に給水タイムを設けて欲しい。
- ・意見交換会は年1回ではなく、もっと増やして欲しい。1時間30分では短い。

- ・働く場が少ない。住居が減っている。近隣自治体の連携が必要ではないか。
- ・生涯学習に取り組む人が高齢化で減少している。
- ・生涯学習センターとのやり取りで、時間が掛かりすぎて、やりづらさを感じている。声の届く仕組みが欲しい。
⇒縦割り行政の弊害がある。町民の要望を受けてからのキャッチボールに時間が掛かりすぎ、やもすると無しのつづてになる。結果は速やかに要望者へ返すべきだ。
- ・困って相談しても、「予算がない」と返答してしまう。
- ・人口減少対策補助金を充実しても近隣と同水準では魅力が出ない。住むことでのメリット、暮らし易い施策を充実してほしい。
- ・職員のモラルが低いと感じる。「あいさつ」ができていない。
- ・窓口のたらい回しがある。仕事に自信を持ち、住民の為との認識を持ってやってほしい。
- ・職員で暇そうな人がいる。一方で、夜遅くまでいる人もいて、均一的にできないのか。将来は人口も減るので、少数精鋭で行くべきではないか。また、議員定数減も考えて。
⇒時々の職務内容によって生じると思う。人事の問題にも関係しているので、総務課も苦慮しながら対応している。
- ・文化祭が盛り下がっているので、イベント内容の充実が必要だ。また、行政側の丸投げ感があるので、職員のサポート人数増やして、地域間の連携や鑑賞交流は考えられないか。

新鶴会場（新鶴生涯学習センター）

開催日：令和6年6月18日（火）午後6時30分～

参加者：町民23名、議員16名

【充実しているところ】

- ・多世代にわたり消防団に入団している
- ・会津若松市の隣で住みやすい
- ・暮らしやすい生活環境が整っている

【充実していないところ、こんなふうになったら・こんなことできたらいいな】

- ・各地区のお祭をオール美里でできたら良い。
- ・毎年空き家が増えており、減らすアイデアを考え町全体としての取り組みとして、空き家問題を解決してほしい。
- ・空き家をリノベーションして再生できる方法はないか。
- ・働く場所が少ない。収入が少ないと子どもが増えない。集落のコミュニケーションが崩れてしまっている。桧ノ目地区で空き家が問題になっている。
- ・移住者がいたが、出て行ってしまった。情報発信の工夫を行うべきだ。空き家の事故を心配している。
- ・店がない。コンビニがない。子どもたちがこづかいでおやつを買うことができない。子どもが少ない。戻ってこなくてもよいという親も多い。
- ・空き家が崩れてトタンが飛んでくる家が多い。
- ・議員の一般質問に対する成果が見えていない。答弁の内容で実現したことがわからない。どのように充実したかがわからない。
⇒広報広聴委員会では「あの質問どうなった（仮称）」というのを議会だよりに載せることを検討しています。
- ・議員定数を減らして欲しい。
- ・美里町は住む場所、会津若松市は働く場所と割り切ってもいいのではないかと。税収は確保できる。
- ・学校給食費を無償化にして欲しい。
- ・運転免許証返納後の支援を充実して欲しい。
- ・子育て世帯への支援金の充実。教育に係る経費は無料にすべき。
- ・移住者支援補助策が、少し住んでからの使用規則になっていて使いづらくて現実的でない。そもそも出さない規則かと思ってしまう。（移住者が5人ほど居て、未利用です。）
- ・移住農業者の離脱は紹介の際のニーズ調査と対応に問題があるのではないかと。
⇒農地の貸借規制があって難しい面がある。農地中間管理機構、農協組合で決まっていない。農地管理をよくすることが大事である。
- ・間伐計画だけあって、実施されていないと思う。住民の中で意思のある人を活用してもいいのではないかと。
⇒山に入ったの仕事はお金にならない。実際にやれるところは3か所のみでないか。有限会社とか法人化してステップを見える化して取り組むしかないのではないかと。
- ・災害対応、心構えを含めての話し合いの場を作ってほしい。
- ・町の物産コンテストを実施して、賞品をそろえて、お祭りのようにやれないでしょうか。

- ・どぶろく特区ブランドづくりによって目立つ町の特徴づくりをしてはどうか。
- ・国宝「一字蓮台法華経開結共(九巻)」のレプリカでもいいので、いつでも見れるようにできないか。また、商品グッズ開発できないか。
- ・「天海大僧正」を小学校児童に紙芝居で紹介しているが、もっと大々的に取り上げていった良いのではないか。